

産業医科大学アイソトープ研究センターの 施設・機器のご利用案内

産業医科大学アイソトープ研究センターは、北九州市で唯一、非密封の放射性同位元素が使用できる施設です。そこで、地域に対する社会貢献の一環として、北九州市内の大学に所属する研究者や、本大学出身の産業医等が、当センターの放射線施設および機器を利用できるように整備しています。

みなさまの所属する大学にR1施設が無い場合、あきらめていた実験などはありませんか？その様な際には、お気軽にアイソトープ研究センターまでお問い合わせ下さい。

産業医科大学アイソトープ研究センター

学外利用対象施設・機器

非密封放射性同位元素実験室

専用スペース（実験台）の貸し出しを行います。

γ線照射装置

^{137}Cs を内蔵した高線量率（0.69Gy/min. ガンマセル）および低線量率（0.96mGy～0.001mGy/min.）の照射装置があります。ただし、ガンマセルで照射できる試料の大きさは、直径30cm×高さ10cmのチャンバーに入るものに限られます。

*線量率はいずれも2016年9月30日現在

測定装置等

施設内には測定装置（液体シンチレーションカウンター、γカウンター等）、解析装置（バイオイメージアナライザー）等や、CO₂インキュベータ等の実験機器があります。



学外者用実験室



ガンマセル



カウンター類



バイオイメージアナライザー

利用対象者

北九州市内の大学研究者および産業医科大学出身の産業医等

利用時間

原則として月～金曜日（祝祭日および産業医科大学の休日を除く）の午前8時30分から午後5時まで

利用手続

1. 必要書類の提出
「学外者利用許可申請書」をアイソトープ研究センター管理室に提出して下さい。
2. 教育訓練の受講
放射線や放射性同位元素を取り扱う場合には、法令の規定により当センターで実施している「教育訓練」を、前もって受講し、放射線業務従事者として登録する必要があります。教育訓練は年3回（原則として6、10および2月）実施しています。受講される方のR I取扱経験により項目や時間数が異なり、また事前に「健康診断」の受診も必要になります。
3. 誓約書等の提出
誓約書や利用申込書の提出、その他必要書類をアイソトープ研究センター管理室に提出して下さい。

※ 詳しくは、[下記お問い合わせ先](#)にお尋ね下さい。

その他

1. 当センターを利用できる方は、ピペット操作など基本的な実験器具の操作ができる方に限ります（非密封R I使用の場合）。
2. 放射性同位元素の使用は法令の規制を受けます。このため、使用にあたっては当センターの「放射線障害予防規程」を遵守して下さい。

お問い合わせ先

産業医科大学アイソトープ研究センター

Tel : 093-691-7410 (直通) Fax : 093-602-6707

e-mail : j-rrriii@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

【学外者用実験室の紹介】



実験室内の様子



中央実験台



ドラフトチャンバー



遠心機（左）、冷凍庫（中）、冷蔵庫（右）

【放射線測定機器の紹介】



ガンマカウンター
(日立アロカ社製、ARC-7000)



液体シンチレーションカウンター
(日立アロカ社製、LSC-8000)



バイオイメージアナライザー
(富士フィルム社製 FLA-5000)



マイクロプレートシンチレーション
・ルミネッセンスカウンター
(パーキンエルマー社製、TopCount)

【放射線照射装置の紹介】



ガンマセル
(NORDION 社製 ガンマセル 40EX)



ガンマ線照射装置
(中外テクノス社製 SK-95)

【その他】



培養実験室



CO₂インキュベーター